

井戸端 通信

Vol.32 発行 平成19年9月1日

〒930-0096
富山市舟橋北町7-1
富山県民生涯学習カレッジ内
自遊塾広報部



偉大なみやあらくもん

県民カレッジ学長 中西 彰

平成四年から三年間勤務して以来の県民カレッジ勤務になります。当時は、生涯学習が華やかな時代で、県財政も今ほど窮乏していませんでしたので、多彩な事業を展開することができ、我々職員は、いきいきと日々の講座を運営したり、新しい企画作りに励んだりしていました。

夏季講座は連続五回のシリーズを二週にわたって実施していましたが、春季・秋季・暁天・創造性開発・余暇文化など、多くの大型講座がありましたので、中央講師だけでも年間二十人以上お呼びしていました。

また、県民カレッジ叢書は年間八冊発行しており、講師に校正を依頼したままなかなか戻ってこなかったのが、半年後ようやく届いて大喜びしたこともありました。

こうした人との出会いや感動を味わえたことの幸せを思うにつけ、大型講座は夏季講座の二回のみ、叢書も一冊だけという現状は、まことに寂しいものがあります。

そんな中であって、前回の勤務の最終年に試験的に導入し、翌平成七年に本格実施となった県民カレッジ自遊塾が、今、五十四名の県民教授により、五十七講座も開講されているのは、ほんとうにすばらしいことで、歴代塾長さんをはじめ、関係者のご努力には深く敬意を表したいと思います。

先頃、静岡市から懐かしい方が訪ねていらっやいました。この自遊塾立ち上

げの際にモデルとさせていただいた清見潟大学の塾長庄司勲氏です。清見潟とは静岡市清水区(旧清水市)の三保の松原を擁する一帯の景勝の地のことで、「ここを拠点に「遊び心で大学」を基本理念に昭和六十年に設立されたのが清見潟大学です。したがって、自遊塾より約十年先輩にあたることになりま。学長室でしばらく談話させていただき、十数年前の思い出話に花を咲かせましたが、生涯学習にかける情熱は衰えるどころかますます盛んなものがありました。

ところで、この自遊塾導入を検討している頃、カレッジ職員の多くは半信半疑で、どちらかというところ後向きでした。勤勉で実学を重視する県民性から、「生涯学習や文化活動は、仕事に区切りのついた年寄りのすること」といったイメージが強く、若い内からそんなものにのめり込んだりすると、「みやあらくもん」の烙印を押されたりする傾向がありましたので、「遊び心で大学」はまさに道楽者のすることにし映らないという懸念があったからでした。しかし、庄司氏の適切なアドバイスと担当者のエネルギーとが周囲を徐々にその気にさせ、設立に向かって動き始めたのです。

従来の県民カレッジ受講者層の枠を超え、広く県民に参加してもらうことが肝要と考え、広報紙に掲載するだけでなく、連日企業に向いて総務や人事担当者に直接説明して理解を求めたり、

民宿を借り切って夜通し膝を交えて語りあったりする担当者の姿を今でも思い出します。こういった苦労が功を奏し、初年度十六講座の開講にこぎつけたのでした。

この「偉大なみやあらくもん」の集団である自遊塾県民教授会は、途中、何度か危機に直面しながらも、十三年目を迎えた今、前述の通り五十四名にふくれあがっているのです。

時あたかも、団塊世代の大量退職が始まりました。彼らには様々な形で地域貢献が期待されていますが、生涯学習への参加もそのひとつに位置づけられます。しかも、この方々にとって、単に学ぶだけでなく、今まで身につけた技術や専門知識を社会に還元することに大きな意味があるのです。そのためのノウハウを学んでいただくメニューとして「はつらつ学びのリーダー育成事業」が立ち上がりました。この中から「偉大なみやあらくもん」が多数誕生し、県民教授会の後継者になっていただけることを祈っています。

平成19年度自遊塾 県民教授会「役員・部長」

役員	部長
塾長 松本 慎一	対外広報部 森田由樹子
副塾長 加藤 利雄	対内広報部 中嶋 昭三
副塾長 熊木 保子	交流部 経田 博子
幹事 岡岸 喜義	研修部 永田 円了
幹事 澤井 保子	出前部 松原 和仁
幹事 庄司 俊雄	庶務部 中野 満能
幹事 明神 博幸	会計部 明神 博幸
幹事 三木 修二	

講

座

紹

介



新しい驚きと発見がゾクゾク

斉藤 允

「オホーソク海に変わった雲」、受講の方からニュースで言っていたと聞き、早速TV社のHPを調べると、海上保安庁の航空機が視程中に撮影された長さ五百メートル、間隔三百メートルの巨大なまぼこ型の波状雲であった。具体的な地点と時刻が不明なので発生理由は調べようもないが、巨大なロール雲がオーストラリアで現れると聞いたことがあり、調べて皆さんに紹介した。北オーストラリア・カーペンタリア湾で春先に毎朝発生し、地元ではモーニング・グロリーと呼ばれている南北千キロメートルにも及ぶまぼこ型の雲で南東貿易風が発生原因らしい。世界ではまだまだ一般に知られていない自然のイベントがたくさんあるものです。

また、受講者に気象予報士で医師の方がおられ、「気象と人体の結びつき」として気象と病気について特別講演をいただいた。気圧・気温・湿度の人体のセンサーと神経系、その結果として現れる気象病、季節病、気候病。「腎炎」「うつ病」「自殺」まで気象と関係があるとは、只々驚きでした。

「へー!、どうして!、ほんと!、受講の皆さんから教えられて、気象の勉強を始めたときのよきな新しい驚きや発見がゾクゾク。」

さらに自遊塾をやったよかったと思うこと。それは毎回終了後に



行く行きつけの飲み屋での生ビール。あれも話したかった。もっと良いスライドがなかったか、などと反省しつつも飲むビールは山行から下山してのビールの快感である。(写真は富山の波状雲。波が打ち寄せてくるようだと思えることが多い。)

遊び力・子ども力

大人も子どももみんな元気

早川 隆志

ここ10年で昔ながらの子どもの遊びが消え、ゲーム機中心の遊びにがらりと変わった。NPO法人「子ども遊ばせ隊」は子どもに関わる全ての問題は子ども時代に遊べなかったことと関係すると考えている。子どもたちが今を生きていることが「幸せ」だと感じる時は「遊びの時間」であることは誰もが認めることだろう。遊ぶとは一緒に心を通わす仲間が居て、その空間に自分が居るといふ幸せ実感だと思う。これが生きる力につながるっていくのだ。

子どもの遊びを踏みつぶしているのが大人である。こんな大人を何とかしようと、「子ども力・遊び力」で大人も子どもも元気をテーマに自遊塾を開いて今年で2年になる。

「子どもの遊び環境」の復活は大人の急務である。6月に「子ども力×母親力」を精神科医で「子育てハッピーアドバイザー」の若者明橋大二氏と飛鳥新社から上梓した。子どもと一緒に遊ぶことやコミュニケーションの大切さ、子どもの自己肯定感を養う必要などを、77提案した。この本をひろげることが子どもに幸せをつくりにつながると思う。



『日本百名山』山上登山

平田 清志



講座は、7月27日、受講生のお蔭で終了しました。初めての講師で、上手く運営できなかったところもありましたが、受講生に助けられました。無事終了しました。特に最終回は、「美顔ツボ」で3歳若く」の講師・辻美喜子さんに友情出演してもらい、「講義前のリラクゼーション運動」そして「登山後の疲労回復」の実技指導をしてもらいました。「1歳半若返った」と、とても好評でした。(写真は1歳半若返った受講生たち)

全6回の講座内容を簡単に紹介します。最初は「百名山の人・深田久弥」で、百名山の人気の秘密を探りました。以下、テキストを熟読し、受講生の登山体験を聞きながら「富士山」「剣岳」「立山」。途中、交流会で鍋冠山登山道整備。来年は、この続きを行う予定です。

熟年からのツボ整体で肩こり楽々

3歳若く!(初級)

受講して100歳に届くよ!!

朝野 隆雄

初めての講座を受け持って塾生のみさんと交流を深めながらツボ整体の実技を行い「痛、気持ちいい」を体感し、身体を癒していただいております。塾生のアンケートから見つけたものを紹介します。1つ、教材が分かりやすく説明も詳しく実技に生かしやすい。2つ、実技で呼吸のタイミングのとり方がむずかしい。3つ、ツボ体操を大半の方が行なっている。という声を聞き、次の講座に更に工夫をして反映し

ていきたいと考えています。それから補習講座として8月中旬に2回計画して意欲的に取り組んでいく予定です。また、この講座を受けて100歳に届くような気がする。次回も楽しみにしていますという声を頂戴しています。講師としてより一層ステップアップして「分かりやすく簡単な実技で効果大」をモットーにして、塾生と家族のみなさんが3年後、3歳若くを目指して交流の場を広げていきたいと思っています。



子どもの安全を考えよう

第2回「防犯対策と簡単な護身術」より

大津 典子

CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の誘拐の劇や簡単な護身術などを見てから、「子どもをめぐめる犯罪は本当に増加しているか」「防犯バトロールや地域安全マップは役立つのか」「割れ窓理論、環境犯罪学とは」「本当に有効な防犯対策とは」などについて塾生やゲスト講師と一緒に考えていきました。

塾生からは、「劇を見て、誘拐犯が巧みに子どもに声をかけて騙す様子がよくわかった」「護身術は、誰にでも簡単にできそうだけれど迫力がある。子どもだけでなく、女性でも使えるぞ」「最近、子どもが被害にあう事件が増えたり、少年犯罪が低年



年齢・凶悪化したという印象があるが、データを見るに昭和30、40年代にも同様な事件が多数おきていることを知って、びっくりした。「自分の地域では、防犯パトロールはないが、子どもの登下校時に、散歩をしたり、庭に出たりして、見守っている」等の発言がありました。

この講座のもとになっているCAPからのお知らせです。
CAPスペシャリスト養成講座を10年ぶりに富山市（サンシップとやま）で開催します。基礎編10/26、28、実践編11/23、25日。有料。養成講座受講後、富山CAPとして活動されなくてもかまいません。子どもへの暴力防止について学んでみたい方、大津までお気軽にお問い合わせください。

4月から、「スクラップブック」の講座を始めました。スクラップブックとは、写真を自分のセンスで装飾するというクラフトです。富山ではまだ、あまり普及していないホビーですが、全国的にはかなり広がりを見せています。

講座に参加して下さっているのは、14人。始めたばかりですが、すでに和気あいあいのムードです！写真を持ってきて、それにペーパーを選び、レイアウトしていくというのですが、初めてとは思えないようなステキな作品が、どんどん出来てきています。

作品を作りながら、テクニクや感性を自分で体得していただくという体験学習法がコンセプトですので、とにかく、まずは制作です。作ってみただけで、配色やバランスなどで次の工夫につながればと思います。

スクラップブックで大切なのは、技術だけでなく、写真に写っているものや人に向き合うということです。家族や友達、ペットへの愛情や、旅の思い出など、自分のなかの大切な気持ちを形にする作業だからこそ、楽しいのではないのでしょうか。

初めのスクラップブック
森田由樹子

千垣駅からしばらく立山方面に歩き、途中から先生が草刈までされた旧道を上り下りすると、ついに目の前に本日の行程、三途の川渡り。現在、立山博物館前がある「此所 三つの川」

「旧立山街道を歩き、石仏と語りつ！」
岩井 宏

「是より死ての山」と書かれた大きな石は、元はこの川の向こう岸の崖にあったのを移転したとのこと。立山曼荼羅（吉祥坊本）の中にも「死出之山路」とほられた大きな石も描かれており、昔の人はどんな気持ちで渡ったのだろうかと考えをめぐらせていると「それでは、今から渡ります。」との先生の声。今は、庚申谷川と名付けられた幅約3m、水深約20cmの川をさぶさぶと渡り、高さ約6mの道なき崖を登り、立山芦峯小学校グラウンドに到着。少し歩くと六地藏がわれわれの行程を見守るかのようやさしく行んでおられました。

この講座では経済のファンダメンタルズ（基礎的な条件）の動きを理解することを目標に、20世紀に起きた大不況や大インフレーションの経験と残されたデータ、政策担当者ももにした経済理論やそれに対する批評家や経営者のエピソードなどを現代の世相と重ねながら学んでいます。毎回、塾生の皆さんの想い出話や生ま生ましい経験談を聞くことができ、こちらの方が勉強になります。

前回は、「利子と国債の価格の関係」を勉強しました。皆さんが、なるほどといった顔をされるのを見ますと、生活に密着した経済理論を解説させていただいてよかったですと思います。4月当初に申し込まれなかった人たちにも、いつでも参加していただける開放型の講座になればよいのと思っています。

ファンダメンタルズ何？
BRICSN何？
森 秀裕

中東部ヨーロッパに秘められた、ラテン文化の宝庫、ルーマニアは、体操選手のナディア・コマネチ、ドラキョラ伝説で知られているが、一般的には、日本人にはまだ馴染みが薄い。1月に、欧州連合（EU）に加盟し、経済発展もめざましい現況である。6月上旬、仲間13名で、ルーマニアの都市、クルージュ・ナポカを訪ね、現地の財団法人文化センターで、ジャパニーズを開き、着付け、折紙、書道、お茶、囲碁、ちぎり絵等の講習を行った。日頃センターに通っている父兄、子供達が30数名集って、それぞれ好きな講座に参加された。私は、書道を担当し、小学生が、「夢」と「愛」の字を半紙で練習し、カタカナで名前を書き、各人、力作を家に持ち帰った。親日的で、日本語を勉強し、日本文化に触れようと努めている姿は、輝いて見えた。11月中に富山でルーマニア友好協会が発足。今後交流が深まることを期待しています。

「とやま食育 ちんどんソング」を作りました
澤井 保子

「健康的な食生活を考える」という講座の中で、「食育」を取り上げていますが、講座

「とやま食育 ちんどんソング」を作りました
澤井 保子

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。

「自遊塾合同開講式」が開催された。今回は、プロジェクターによる今年の講座の約1分間紹介があった。



はつらつ講演会

桜美林大学教授 瀬沼 克彰先生

県民の学習活動を支援するボランティア人材やリーダーなどを育成する新規事業の一環としてこの講演会が開催されました。富山の成人の学習意欲は全国平均より高いものがあります。しかし学習に対する姿勢は、受身型が多い。学習に対する姿勢をさらに活性化するには、受身の学びから社会参画型へと転換することが求められます。そのためには、従来の社会教育における行政主導から脱却し、住民主導を進めることがより求められてきています。全国の先進事例を紹介して頂きましたので、これらの事例から学び、名刺に自分のできることを書き、「はつらつ学びのリーダー」として、地域のなかで、自分を活かすようにして、受身の学びから社会参画へと今後の私たちの進む方向について教えて頂いたと思います。



各地区センター・キャンパスフェスティバルについて

- ◇新川地区センター
・10月26日(金)・27日(土)
 - ◇高岡地区センター
・11月1日(木)・4日(日)
 - ◇砺波地区センター
・10月27日(土)・28日(日)
- ☆皆様の参加をお待ちしています☆

第19回 県民カレッジ学遊祭

〔日時〕平成19年10月20日(土)

10:00~16:30

〔会場〕富山県教育文化会館ホール他

・知事公館

〔内容〕

◇ステージ発表(ホール)

10:00~12:00

生涯学習団体・自遊塾

◇上映会・表彰(ホール)

13:30~14:30

県民カレッジ映像センター制作

郷土学習教材上映会

・題名「ふるさと富山の偉人

石黒信由「江戸時代に精密な地図を作る」

・高単位者認定証授与

・生涯学習団体表彰

◇講演会(ホール)

14:30~16:00

演題「ありのまま そのままに生きる」

講師 俳優・演出家

俳優 高津 住男 氏

女優 眞屋 順子 氏

◇展示発表(集会室)

10:00~16:30

・県民カレッジ友の会「雷鳥会」

・県生涯学習団体協議会

・富山地区生涯学習団体協議会

・自遊塾

◇展示・ミニ講座(203・304・401・403号室)

10:00~14:30

・自遊塾

・市民塾

◇映像フェスティバル(ハイビジョン学習室)

10:00~12:00

◇お茶会(知事公館)

10:00~13:30

・自遊塾

・市民塾

自遊塾大交流会の開催決定

〔日にち〕

12月1日(土曜日)・2日(日曜日)

一泊二日で行います。

〔場所〕

国立立山青少年の家

自遊塾に関わっている皆さんが一堂に会して、語り合い・体験しあう二日間。コミュニケーションの輪を広げてみませんか? 「自遊塾」の面白さ・楽しさを、みんなで体感しましょう。

で、なにをするの?
それをみなさんから大募集!

こんな時間があつたら良いな

こんな講座があつたら良いな

こんな交流があつたら良いな

みなさんの「あつたら良いな」をお聞かせください。



県民教授交流会

第1回県民教授大交流会が、富山市内で開催されました。

当日は、全員で23名の参加があり、美味しい食べ物と、今後の自遊塾講座のあり方について大いに語りあいをしました。ごちそうに舌が踊り、会話に心が躍りました。

皆さん、自分の講座の受講生と一緒に、学びの中から、より高いものを求めて日々活動していますが、よりよい自遊塾となる方法を追い求めていますので、こういう交流のなかから、解決のヒントを発見しようと真剣に話されていました。

「いろんな話をゆっくり聞けました」、「講座間の連携、発展、協力が生まれる」、「講座のアイデアを頂いた」、「アトラクションを企画すること」などなど多数の感想を頂き有難う御座いました。よりよいものに皆でしていきたいと決意を新たにしました。



編集後記

新しい自遊塾をめざし、役員会並びに部会でもいろいろ検討されています。学心楽しさから参加する学びとなるリーダーを育成する「はつらつ学びのリーダー育成セミナー」も始まりました。皆様との連携でさらなる発展をさせたいものと考えています。ご意見等がありましたら、広報部又は庶務部までお願いします。

32号がお届け出来ましたのも、皆様のご協力の賜物と広報部一同深く感謝申し上げます。(中嶋 昭三)